

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保土ヶ谷もえぎ			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 25 日		～	2025 年 12 月 2 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 25 日		～	2025 年 12 月 2 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	気軽に相談できる体制を整えている。	HUG（アプリ）や電話で気軽に相談できる体制をた整えております。 面談など保護者の皆様が直接相談できる場を設けております。	相談内容をスタッフ間で共有し、支援に反映して参ります。 必要に応じて、ペアレントトレーニングや子育て支援に関する資料を提供いたします。 急な相談やトラブル時に迅速に対応できる連絡体制を整えて参ります。
2	快適な環境作りに取り組んでいる。	パーティションを活用し、活動ごとに安全で集中できる空間を確保しております。 2階・3階の部屋を柔軟に使い分け、活動内容に応じた環境を提供しております。 季節や活動に応じて壁面装飾やレイアウトを調整しております。	収納や動線を見直し、ご利用者様が安全に移動できるスペースを確保して参ります。 視覚的に楽しい環境づくりのため、季節感のある制作物や掲示を充実させて参ります。
3	保護者様同士の交流の機会を提供している。	茶話会や季節行事（クリスマス会等）を通じて、保護者同士が情報交換や意見共有を行える機会を提供しております。 茶話会では、日々の様子を動画でご覧いただきながらお伝えし、保護者の皆様からのご要望を取り入れることで、より質の高い支援を目指しています。	保護者の皆様が参加しやすいイベントの充実を図り、保護者の方々およびご兄弟姉妹への支援体制を強化してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の放課後児童クラブや児童館との交流、また地域の子どもたちと活動する機会が不足している。	活動の範囲が事業所内にとどまっており、地域や他機関との連携体制が未整備な部分があると感じております。	地域との連携について、今後検討して参ります。 他機関との交流機会を把握し、可能な範囲で参加できる方法を探っていきたいと考えております。
2	利用定員や児童の状態に対して職員配置は適切であるものの、夏休みなどの長期休暇や土曜日など、一部の場面で人員不足を感じることもある。	長期休暇や土曜日はお子様の活動時間が長くなるため、通常より多くの支援が必要となります。 1対1対応が必要なお子様が複数いる場合、職員の負担感なども考慮し、全体の支援のバランスを検討する必要があると感じています。	長期休暇や土曜日の職員配置について、今後検討して参ります。 1対1対応が必要なお子様が多い場合の支援体制について、柔軟な対応方法を模索していきたいと考えております。
3			